

平成28年度

「滋賀県禁煙・分煙実態調査」
報 告 書

— 飲 食 店 —

滋賀県健康医療福祉部健康医療課

目 次

I. 調査の目的	1
II. 調査方法	1
III. 調査結果	2
1. 受動喫煙防止対策	2
2. 全面禁煙・空間分煙にしている理由	3
3. 今後のたばこ対策	5
4. 「受動喫煙ゼロのお店」の認知状況	6
5. 飲食店の喫煙対策に関する意見等（主な意見）	10
IV. 参考資料	14

I. 調査の目的

滋賀県では、健康増進法第 25 条に基づき、受動喫煙防止措置について周知を図り、施設内禁煙の推進に取り組んでいるところです。

この度、県内の飲食店における受動喫煙防止対策の実態について把握するため、調査を実施した。

II. 調査方法

1. 調査対象

平成 28 年 5 月 31 日時点で許可を有している飲食店営業施設（自動販売機・特定簡易営業および自動車営業を除く、大津市を除く）を、「料理店」、「軽食喫茶」、「簡易飲食店」、「一般食堂」、「レストラン」、「めん類」、「すし屋」、「バー・スナック・キャバレー（以下バー等という）」の種目別に分け、それぞれ無作為に抽出し、合計 6,580 施設の中から 3,493 施設を対象とした。

2. 調査期間

平成 28 年 11 月 11 日（金）～平成 29 年 2 月 24 日（金）とした。

3. 調査方法

アンケートを郵送し、返信用封筒による郵送または F A X により回答を得た。（未回答の施設に対しては、アンケートの再送を実施。）

4. 回答状況

宛先不明による未配達分、閉店・休業している施設を除く 3,064 施設のうち 1,470 施設から回答が得られた。（回答率 48.0%）

表 1 回答件数と回答率

	配布数（件）	宛先不明（件）	閉店・休業	回答数（件）	回答率
料理店	159	1	2	80	51.3%
軽食喫茶	456	28	6	259	61.4%
簡易飲食	628	75	7	261	47.8%
一般食堂	686	80	5	279	46.4%
レストラン	526	45	0	257	53.4%
めん類	266	26	3	117	49.4%
すし屋	246	16	4	104	46.0%
バー等	526	130	1	113	28.6%
合計	3,493	401	28	1,470	48.0%

Ⅲ. 調査結果

1. 受動喫煙防止対策

問1 貴店のたばこ対策についてお聞きします。(該当するもの1つに○)

- 1 店内を全面禁煙にしている
- 2 全席禁煙席とし、煙が流出しない喫煙室を設置している。
- 3 禁煙席と喫煙席を完全に分離して禁煙席に煙が流出しないようにしている
- 4 禁煙席と喫煙席に分けているが、しきり等はない
- 5 自由に喫煙できる

飲食店での受動喫煙防止対策については、「全面禁煙」が46.6%と最も高く、次いで「自由に喫煙できる」が37.2%となった。

「全面禁煙」について、種目別では「軽食喫茶」が70.7%と最も高く、次いで「めん類」が65.0%、「レストラン」が61.1%となった。

「自由に喫煙できる」は、「バー等」で92.0%と最も高く、次いで「一般食堂」が52.0%、「料理店」が51.3%となった。

※以下、「禁煙席と喫煙席に分けているが、しきり等はない」は「分煙（流出あり）」、「禁煙席と喫煙席を完全に分離して禁煙席に煙が流出しないようにしている」は、「分煙（流出なし）」と表記。

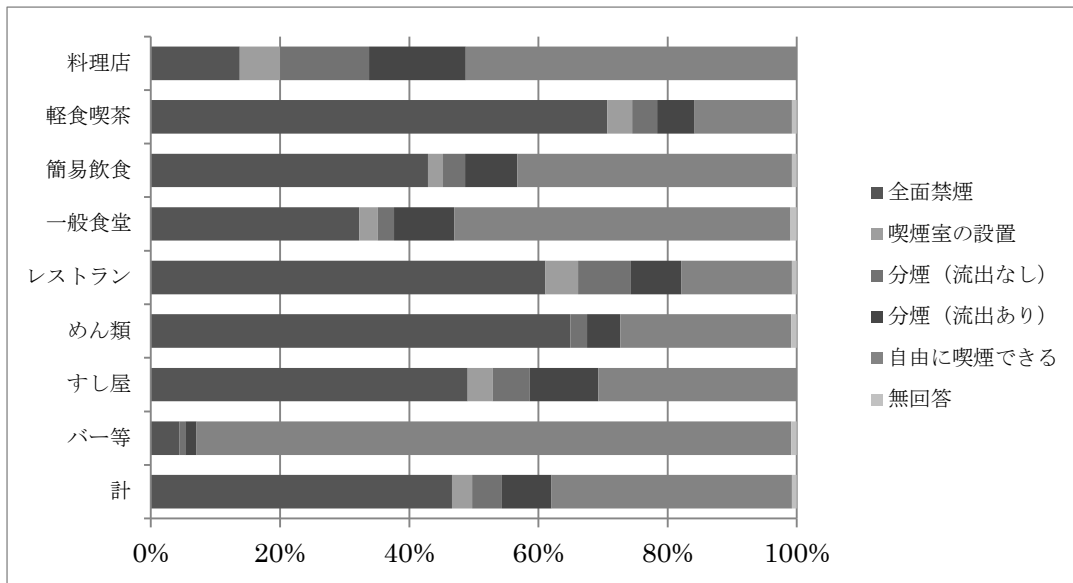
表2 種目別の受動喫煙防止対策実施状況（件）

	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙（流出なし）	分煙（流出あり）	自由に喫煙できる	無回答
料理店	11	5	11	12	41	0
軽食喫茶	183	10	10	15	39	2
簡易飲食	112	6	9	21	111	2
一般食堂	90	8	7	26	145	3
レストラン	157	13	21	20	44	2
めん類	76	0	3	6	31	1
すし屋	51	4	6	11	32	0
バー等	5	0	1	2	104	1
計	685	46	68	113	547	11

表3 種目別の受動喫煙防止対策実施状況の割合

	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙（流出なし）	分煙（流出あり）	自由に喫煙できる	無回答
料理店	13.8%	6.3%	13.8%	15.0%	51.3%	0.0%
軽食喫茶	70.7%	3.9%	3.9%	5.8%	15.1%	0.8%
簡易飲食	42.9%	2.3%	3.4%	8.0%	42.5%	0.8%
一般食堂	32.3%	2.9%	2.5%	9.3%	52.0%	1.1%
レストラン	61.1%	5.1%	8.2%	7.8%	17.1%	0.8%
めん類	65.0%	0.0%	2.6%	5.1%	26.5%	0.9%
すし屋	49.0%	3.8%	5.8%	10.6%	30.8%	0.0%
バー等	4.4%	0.0%	0.9%	1.8%	92.0%	0.9%
合計	46.6%	3.1%	4.6%	7.7%	37.2%	0.7%

図1 種目別の受動喫煙防止対策実施状況の割合



2. 全面禁煙・空間分煙にしていない理由

問2 問1で「3」～「5」と回答した方にお聞きします。

店内を全面禁煙・空間分煙にしていない理由を教えてください。(該当するもの全てに○)

- 1 来客数や売上げの減少が心配なため
- 2 利用客に喫煙者が多いため
- 3 構造上、分煙にできないため
- 4 改修に費用がかかるため
- 5 たばこ対策は考えていない
- 6 その他 ()

全面禁煙や喫煙室の設置をしていない理由は「構造上、分煙にできないため」が48.4%と最も高く、全ての種目についても最も高い割合となった。次いで「利用客に喫煙者が多いため」が42.0%となり、種目別でも高い傾向となった。

表4 全面禁煙・空間分煙にしていない理由 (件)

	1*	2*	3*	4*	5*	6*	無回答
料理店	7	16	29	16	17	14	3
軽食喫茶	22	29	30	18	9	14	2
簡易飲食	40	54	72	38	43	24	5
一般食堂	60	86	90	58	49	32	1
レストラン	31	36	36	26	11	14	2
めん類	14	21	22	10	14	6	3
すし屋	10	20	28	9	9	4	0
バー等	26	44	45	23	42	19	7
合計	210	306	352	198	194	127	23

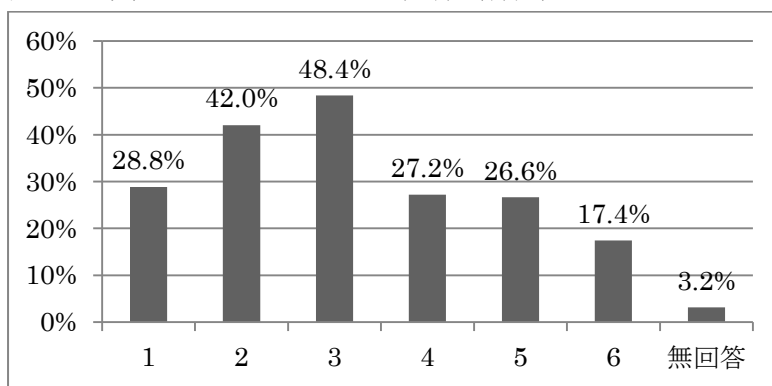
※問2の回答番号

表5 全面禁煙・空間分煙にしていない理由の割合

	1※	2※	3※	4※	5※	6※	無回答
料理店	10.9%	25.0%	45.3%	25.0%	26.6%	21.9%	4.7%
軽食喫茶	34.4%	45.3%	46.9%	28.1%	14.1%	21.9%	3.1%
簡易飲食	28.4%	38.3%	51.1%	27.0%	30.5%	17.0%	3.5%
一般食堂	33.7%	48.3%	50.6%	32.6%	27.5%	18.0%	0.6%
レストラン	36.5%	42.4%	42.4%	30.6%	12.9%	16.5%	2.4%
めん類	35.0%	52.5%	55.0%	25.0%	35.0%	15.0%	7.5%
すし屋	20.4%	40.8%	57.1%	18.4%	18.4%	8.2%	0.0%
バー等	24.3%	41.1%	42.1%	21.5%	39.3%	17.8%	6.5%
合計	28.8%	42.0%	48.4%	27.2%	26.6%	17.4%	3.2%

※問2の回答番号

図2 対策をしていない理由の割合（合計）



※横軸は問2の回答番号

表6 「6. その他」の自由記載欄の回答

改修工事の予定あり。	3件
時間分煙をしている。	9件
できれば禁煙にしたい。	1件
喫煙されるお客様がほとんどいない、減少している。(禁煙の人が多い。)	24件
お客様のモラルに任せている。	6件
1日1組の客なので客同士の了解の下。	1件
宴会場等であるため団体様のお客様の意志に任せている。	3件
個室があるため、個室のみであるため。	5件
屋外に喫煙場所を設けている。	4件
お客様が自ら外に出て喫煙されることが多い。	5件
待合、廊下等に喫煙場所を設置し、そこで喫煙してもらっている。	3件
他のお客様に迷惑にならない場所に移動してと注意喚起の声をかけている。	1件
店内ではなるべく喫煙しないようお願いしている。	1件
たばこは用意しない等できるだけ努力している。	1件
禁煙者と喫煙者をできる限り分けて座っていただいている。	1件
煙を排気できる設備にしている。(ロースター・空気清浄機・換気扇等)	21件
客席が全席露店のため。	2件
テラス席で対応できるため。	1件
禁煙にしてもお客様の要望・文句で喫煙可になってしまう。	2件
常連お客様なので断れない。	1件
店舗や本社の考えに依存する。	2件

利用者の意向が第一であり、現状禁煙・分煙は難しい。	1件
カウンターのみなのでできない。	1件
全て宴会場という営業であるため、営業上分煙が難しかった。	1件
たばこの事を色々と言われる前から営業していたため、今さら感がある。	2件
路上喫煙禁止の為。(店の前の)路上がOKの時は店内禁煙にしていた。	1件
別に国で禁止されておらず税収も高い物	1件
禁煙できるかどうかは店が、経営者が決めればよい。役人が決めることではない。	1件
業種的に禁煙は合わないと思う。	3件
自分も喫煙者であるため、禁煙にできない。	3件
たばこの販売をしているから。	1件
ほとんどの喫煙者がアイコスを使っている。	1件
喫煙をする自由を守るため。	1件
お客様の希望に沿えるよう、全面禁煙していない。	2件
喫煙できるという自由な雰囲気を大切にしたい。	1件
喫煙者にとって快適な場所を提供したいため。	3件
喫煙場所として営業している。	3件

3. 今後のたばこ対策

<p>問3 問1で「2」～「5」と回答した方にお聞きします。</p> <p>今後のたばこ対策についてお聞きます。(該当するもの1つに○)</p> <p>1 店内を全面禁煙にする予定である</p> <p>2 全席禁煙席とし、煙が流出しない喫煙室を設置する予定である。</p> <p>3 禁煙席と喫煙席を完全に分離して禁煙席に煙が流出しないようにする予定である</p> <p>4 禁煙席と喫煙席に分ける予定である</p> <p>5 予定はない</p>

今後のたばこ対策について、「予定はない」が75.8%と最も高く、全ての種目で60%以上の割合となった。

「予定はない」以外では、「めん類」で「全面禁煙」が22.5%、「すし屋」で「分煙（流出なし）」が11.3%であり、他は10%に満たない結果となった。

表7 今後のたばこ対策（件）

	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙（流出なし）	分煙（流出あり）	予定なし	無回答
料理店	5	3	4	6	44	7
軽食喫茶	4	5	2	1	50	14
簡易飲食	5	2	6	7	115	14
一般食堂	8	3	3	10	153	12
レストラン	8	3	4	3	67	15
めん類	9	0	1	3	26	2
すし屋	2	1	6	4	40	0
バー等	1	1	0	6	92	8
合計	42	18	26	40	587	72

表9 受動喫煙ゼロのお店の認知状況（件）

	知っている	知らない	無回答
料理店	15	64	1
軽食喫茶	54	200	5
簡易飲食	73	184	4
一般食堂	78	199	2
レストラン	66	189	2
めん類	30	86	1
すし屋	28	75	1
バー等	11	102	0
計	355	1099	16

表10 受動喫煙ゼロのお店の認知状況の割合

	知っている	知らない	無回答
料理店	18.8%	80.0%	1.3%
軽食喫茶	20.8%	77.2%	1.9%
簡易飲食	28.0%	70.5%	1.5%
一般食堂	28.0%	71.3%	0.7%
レストラン	25.7%	73.5%	0.8%
めん類	25.6%	73.5%	0.9%
すし屋	26.9%	72.1%	1.0%
バー等	9.7%	90.3%	0.0%
計	24.1%	74.8%	1.1%

図12 受動喫煙ゼロのお店の認知状況の割合

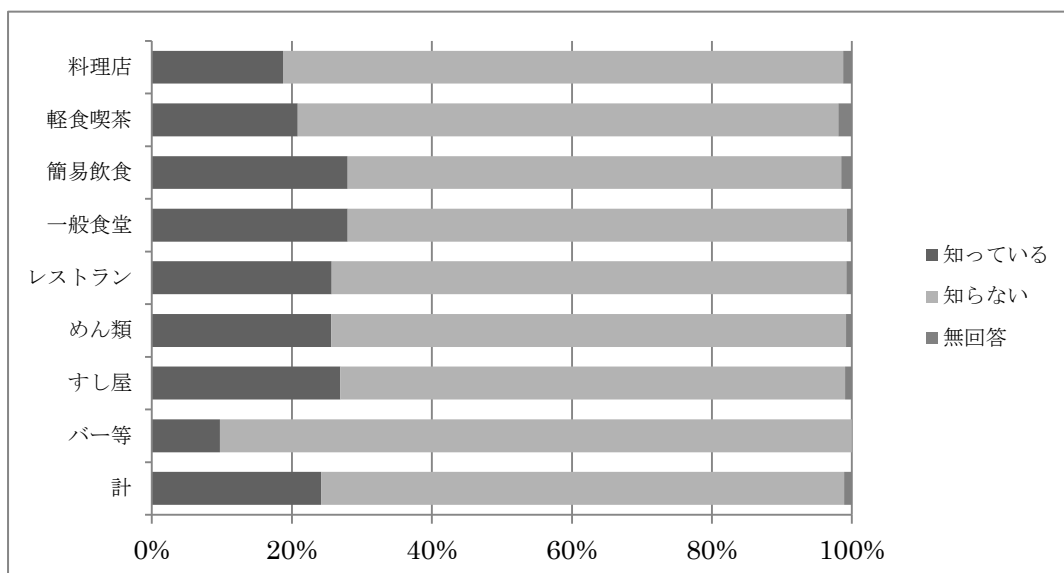


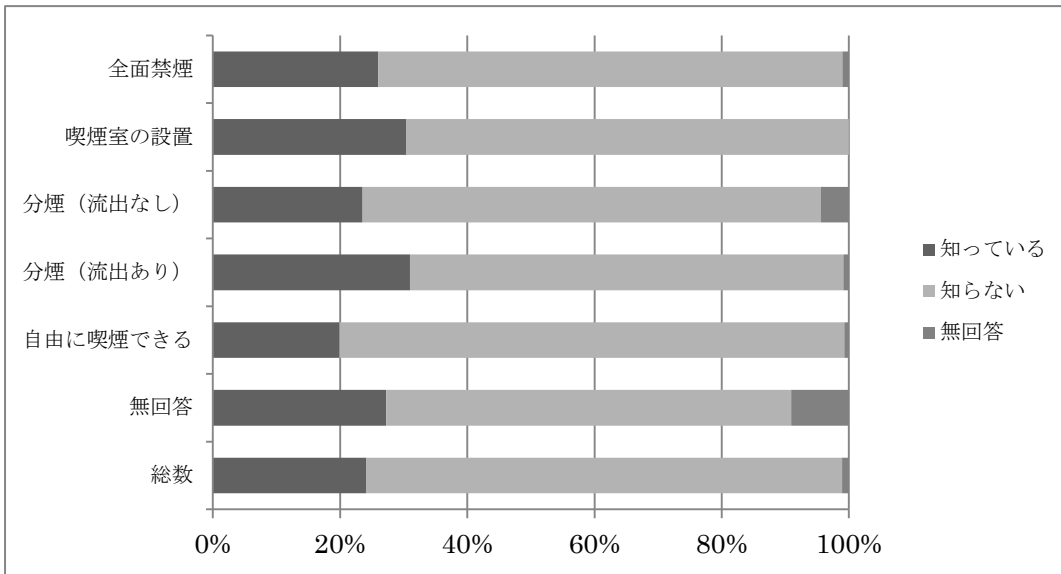
表11 受動喫煙ゼロのお店の認知状況、受動喫煙防止対策別、件数

	総数	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙 (流出なし)	分煙 (流出あり)	自由に喫煙できる	無回答
知っている	355	178	14	16	35	109	3
知らない	1099	500	32	49	77	434	7
無回答	16	7	0	3	1	4	1
総数	1470	685	46	68	113	547	11

表12 受動喫煙ゼロのお店の認知状況、受動喫煙防止対策別、割合

	総数	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙 (流出なし)	分煙 (流出あり)	自由に喫煙できる	無回答
知っている	24.1%	26.0%	30.4%	23.5%	31.0%	19.9%	27.3%
知らない	74.8%	73.0%	69.6%	72.1%	68.1%	79.3%	63.6%
無回答	1.1%	1.0%	0.0%	4.4%	0.9%	0.7%	9.1%

図 13 受動喫煙ゼロのお店の認知状況、受動喫煙防止対策別、割合



情報の提供については、「希望する」が 24.5%、「希望しない」が 69.3%となった。

全種目別で、「希望しない」が高く、「希望する」は「めん類」で 35.0%と最も高く、「バー等」で 15.93%と最も低い結果となった。

受動喫煙ゼロのお店について「知っている」と回答があった施設について、「希望する」が 27.9%、「希望しない」が 64.2%となり、「知らない」と回答があった施設では「希望する」が 23.5%、「希望しない」が 71.8%となった。

受動喫煙防止対策別では、「喫煙室の設置」しており、受動喫煙ゼロのお店について「知らない」施設で、「希望する」が 50.0%と唯一「希望しない」より高くなった。

表 13 情報提供を希望する店（件）

	希望する	希望しない	無回答
料理店	16	55	9
軽食喫茶	72	168	19
簡易飲食	54	192	15
一般食堂	68	196	15
レストラン	70	176	11
めん類	41	71	5
すし屋	21	76	7
バー等	18	84	11
計	360	1018	92

表 14 情報提供を希望する店の割合

	希望する (%)	希望しない (%)	無回答 (%)
料理店	20.0%	68.8%	11.3%
軽食喫茶	27.8%	64.9%	7.3%
簡易飲食	20.7%	73.6%	5.7%
一般食堂	24.4%	70.3%	5.4%
レストラン	27.2%	68.5%	4.3%
めん類	35.0%	60.7%	4.3%
すし屋	20.2%	73.1%	6.7%
バー等	15.9%	74.3%	9.7%
計	24.5%	69.3%	6.3%

図 14 情報提供を希望する店の割合

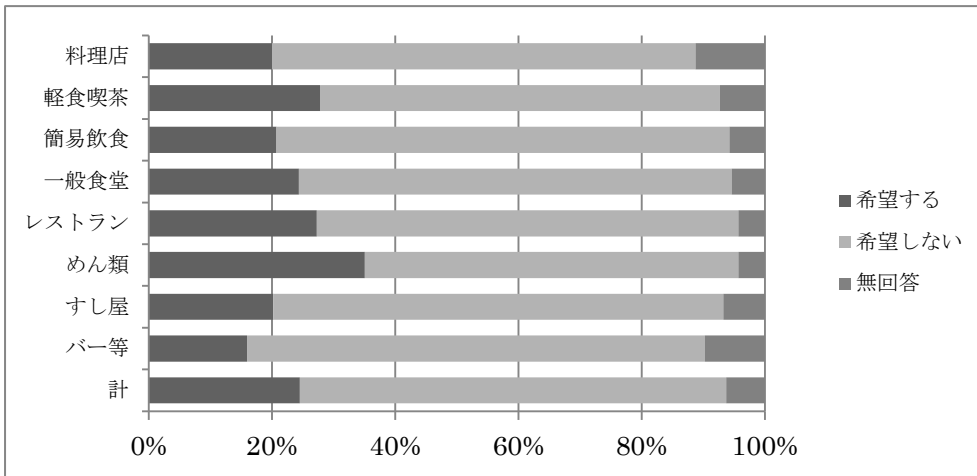


表 15 情報提供の希望、受動喫煙防止対策別、受動喫煙ゼロのお店の周知状況「知っている」

	総数	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙 (流出なし)	分煙 (流出あり)	自由に喫煙できる	無回答
希望する	99	66	6	4	7	15	1
希望しない	228	96	8	10	27	85	2
無回答	28	16	0	2	1	9	0
総数	355	178	14	16	35	109	3

表 16 情報提供の希望、受動喫煙防止対策別、受動喫煙ゼロのお店の周知状況「知っている」

	総数	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙 (流出なし)	分煙 (流出あり)	自由に喫煙できる	無回答
希望する	27.9%	37.1%	42.9%	25.0%	20.0%	13.8%	33.3%
希望しない	64.2%	53.9%	57.1%	62.5%	77.1%	78.0%	66.7%
無回答	7.9%	9.0%	0.0%	12.5%	2.9%	8.3%	0.0%

図 15 情報提供の希望、受動喫煙防止対策別、受動喫煙ゼロのお店の周知状況「知っている」

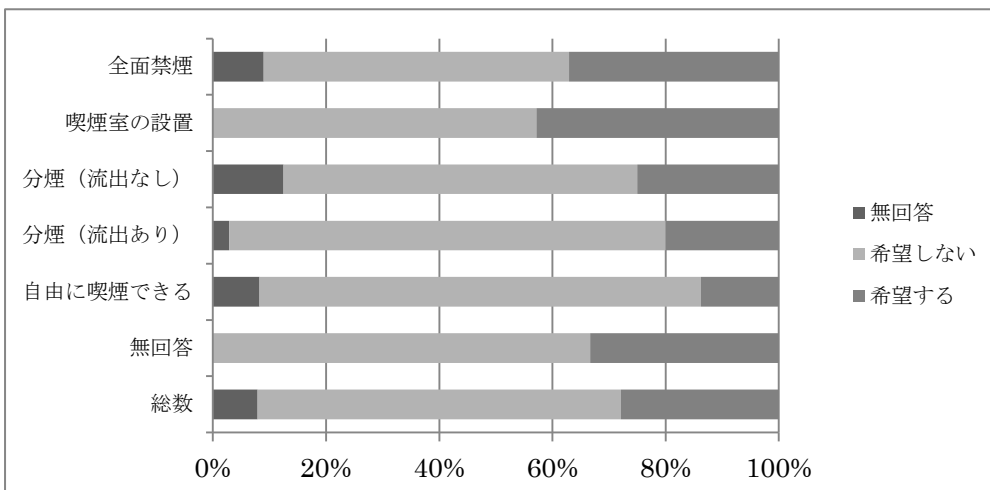


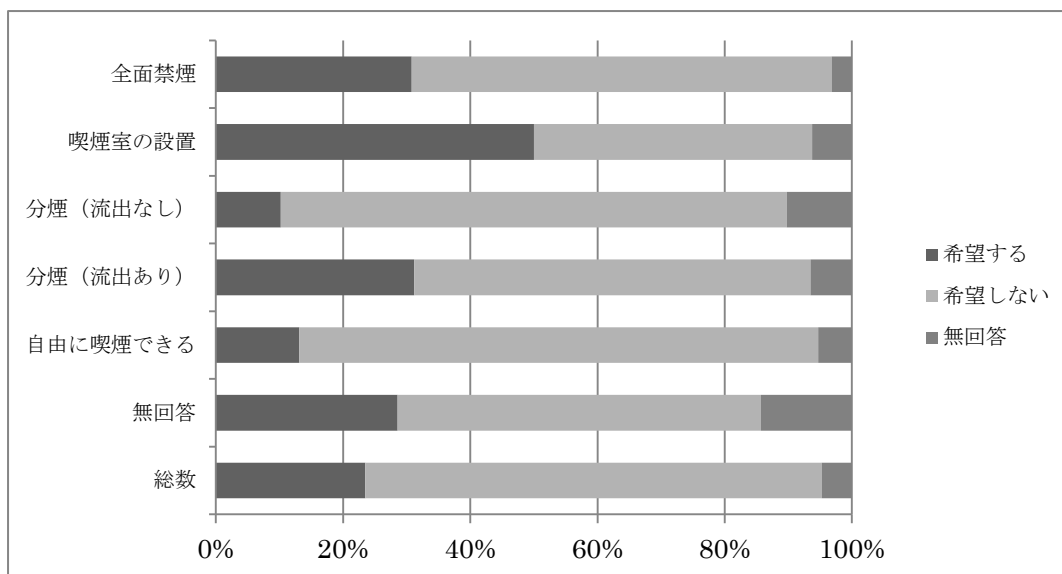
表 17 情報提供の希望、受動喫煙防止対策別、受動喫煙ゼロのお店の周知状況「知らない」

	総数	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙 (流出なし)	分煙 (流出あり)	自由に 喫煙できる	無回答
希望する	258	154	16	5	24	57	2
希望しない	789	330	14	39	48	354	4
無回答	52	16	2	5	5	23	1
総数	1099	500	32	49	77	434	7

表 18 情報提供の希望、受動喫煙防止対策別、受動喫煙ゼロのお店の周知状況「知らない」

	総数	全面禁煙	喫煙室の設置	分煙 (流出なし)	分煙 (流出あり)	自由に 喫煙できる	無回答
希望する	23.5%	30.8%	50.0%	10.2%	31.2%	13.1%	28.6%
希望しない	71.8%	66.0%	43.8%	79.6%	62.3%	81.6%	57.1%
無回答	4.7%	3.2%	6.3%	10.2%	6.5%	5.3%	14.3%

図 16 情報提供の希望、受動喫煙防止対策別、受動喫煙ゼロのお店の周知状況「知らない」



5. 飲食店の喫煙対策に関する意見等 (主な意見)

項目	回答数	主な意見
喫煙される方に関すること	48 件	喫煙されるお客様は年々減少しておりますので、お客様自ら気を付けておられるケースが多いです。
		喫煙者も最近は遠慮して吸ってます。
		喫煙場所が分かりにくいいためポイ捨て、喫煙場所以外での喫煙が多く少し困っています。
		今はすでにお客様の方が良く知っていて離れて吸ったり、外で吸ったりしています。

項目	回答数	主な意見
喫煙される方に関する事		以前は文句を言われましたが、最近は世間が浸透してきたため灰皿という客がない。
		近年は禁煙されているお客様が多くなりましたので、自然に0に近くなるのではと思っております。
喫煙対策に関する事	189件	喫煙者が減っているので全面禁煙しても支障ない。協力してくれる。
		健康上、百害あって一利なしのもと思っております。また、せっかくの料理の味も素直にあじわっていただけないと思うので、完全禁煙にしていますし、今までそうとされたお客様もおりません。「禁煙ですか？」と聞いてこられる方はたまにおられますが、「はい」というと納得していただきます。
		今年思い切って完全禁煙にしました。空気がクリーンで気持ちいいです。
		「喫煙できますか？」と来店されるお客様は帰られてしまいますが、お子様連れのお客様もいるので、とても良いと思います。
		喫煙室を設けているので、何ら問題はなくお客様は過ごせていただいています。
		お酒が入るとついついタバコが欲しくなるらしく館内の部屋を区切っているが同じ部屋グループで相談してもらっています。
		補助金を活用し、完全分煙をしたいと考えている。
		禁煙はしたいけど、喫煙されるお客様にも利用していただきたいので喫煙ゼロが希望でもなかなか難しいなと日々思います。
		基本、食事の場で喫煙して欲しくないのがオーナーの気持ちですが、喫煙される方の気持ちもないがしろにできないのが正直な心境です。
		売上が心配。
		客層が喫煙者が多い。分煙したいが経費がかかるので出来ない。
		店内狭いので禁煙席と喫煙席に分ける事ができません。
		お酒を出す店ですので、禁煙は言えなくて、又言うと喧嘩になる恐れがあります。(お客様が酔っておられますので。)
		全面禁煙にすることは不可能です。その店に合った個別の対策が必要になると思います。
		愛煙者が多く店に来ていただいた時くらいは自由に吸って楽しくストレス解消して頂きたい。
		だいたいタバコを吸わない人が増えたが、まだまだタバコを吸う人がたくさんいます。これを禁煙席にしてしまうと来ない人が増えると思います。
		最近では歩きたばこもできない、家庭に帰っても自由に吸えない環境で唯一自由に吸える場所として提供する予定です。
空間分煙なら喫煙室を作る費用を、全面禁煙ならそれによって減少するだろう売上げなどまで考えて欲しい。お客様の中には禁煙なら二度と来ないという人もいます。		
アイコスの利用者も増えてきてますが、食事色の強い方なら全面禁煙でも営業は成り立つが酒類の割合が多い店にとっては現状全面禁煙は不可能。県自体で禁煙にしない限り大手中堅以外は設備投資費や色々経済的に厳しいと思います。		

項目	回答数	主な意見
意見等	78 件	禁煙にしたからといって客数が減るとは言えない。原因は他にあるのでは。禁煙にすれば、たばこを吸わないお客様が増える。好きでたばこを吸ってる人はそれでよいが従業員は嫌でも受動喫煙になるので対策が必要
		法律で「飲食店全面禁煙」になってもよしだと思います。皆、一律、同条件だから。禁煙家の人たちの外食が逆に増えるかも。
		健康のためにも喫煙ゼロの店が増えればと思っております。
		禁煙のお店が増えているので、入るお店での食事がおいしくいただけます。
		居酒屋へ行くと今でも全席喫煙できる店が多いけれど吸わない者には大変な迷惑です。
		賛成です。一緒に働いているスタッフの受動喫煙を一番に心配します。禁煙に賛成します。
		昔ほどたばこを吸う人が少なくなって、自動販売機も店に有るのですが、何年も前から使うこともなくたばこ買う人もいないのでたばこの事は正直心配していません。
		アルコールを主に扱う店の場合、喫煙者が多くなるので分煙・禁煙を実施すると、経営困難となる恐れがある。
		今は喫煙を自由としていますが、今さら禁煙とは言えない状況です。法律で決めていただければ、お客様に気を悪くさせずに禁煙できます。ぜひ法改正を望みます。
		完全禁煙は反対。法律で喫煙が許されている以上、喫煙可能な状況は作るべき。ただし、受動喫煙の健康被害に対する理解はできるので分煙という形で進めるのが良いと思う。
		たばこを吸っている人がかなり多く、喫煙者の人たちがかわいそうに思えてくる。
		iQOS 等の普及による喫煙対策の概要があれば教えていただきたい。
玄関に灰皿を設置しています。煙が出ない電子タバコの場合の対応が難しそうです。		
行政への要望	101 件	飲食店での喫煙は宴席などでは酒とおしゃべりとたばこはセットの所もありなかなか分煙できない所です。お店としても分煙は目指しますが行政も禁煙店にできるように色々補助を考えていただきたいです。
		喫煙対策または分煙など入店されるお客様に理解していただける様な証明書や店頭、店内に貼るわかりやすいシール等の物の支給等対応をしていただきたいです。
		受動喫煙に関する情報誌（ポスター・チラシ）等を配布してほしい。
		当店では、アイコスや電子タバコ等も断っていますが、「害はないでしょう」等ご理解いただけないお客様にうまく説明できる文言などがあれば教えて頂きたいです。また、滋賀県としては上記の電子たばこ等はどう取り扱うか教えていただきたいです。
		喫煙ゼロをお客様に話して欲しい。自分自身もそうですが、喫煙は迷惑です。県内の数カ所に喫煙する場所を作り、他での喫煙は禁止にしてほしい。町村で1～5カ所あればよいかと思います。小さい子どもの背丈で吸う人もいます。道路の吸い殻が目立つので歩きたばこの全面禁止をしてください。
		お客様によって、喫煙できないと変な顔をされる方もいらっしゃいますので、公に決めていただいた方が店側も対応がしやすいと思います。
店としては全面禁煙にしたいです。滋賀県の方から条例で飲食店での喫煙禁止にしてほしいです。		

項目	回答数	主な意見
行政への要望		<p>飲食店に限らず公共の施設において受動喫煙の問題がある以上、全面禁煙にするのは世界の流れである。先進国において、飲食店（公共施設含む）でたばこが吸えるのは日本くらいではないか。分煙などというのはごまかしでしかありません。数年前、大阪駅での調査では切符売り場で吸った煙がホームにまで流れていることが確認されています。当店では、お客様の多数がビジネスマンの為、約半数が喫煙者です。しなしながら売上うんぬんではなく受動喫煙の問題がある以上、社会性というよりも人間性の対応として全面禁煙としています。たばこを吸う自由はありますがたばこは害しかないものです。斯く言う私も昔は喫煙者でした。自分のみならず他人にも害を及ぼす以上、大人として人としてやめました。滋賀県はクリーンな琵琶湖や街、空気をめざし、街全体で罰則をもうけた全面禁煙、ポイ捨て禁止を押し進め、推奨する日本で最初の県になることを望みます。</p>
		<p>健康増進法第 25 条だけでなく、県として本気で取り組みを考えているのならば、横浜市のように条例を施行した方が経営者もわりきれれると思う。</p>
		<p>従業員にも喫煙者はいないですし、たばこは嫌なのですが、よくご来店いただく方に少し喫煙者がおられるのでなかなか禁煙にできませんでした。条例などで一律飲食店禁煙にしていればやりやすいのですが。</p>
		<p>たばこの販売をやめたらいい。</p>
		<p>禁煙・喫煙の対応はお店に任せるべきだと考えています。禁煙にした方が利用客が喜ばれると思えば、オーナーは全面禁煙店にする判断をするべきですし、そうでなければ喫煙も有で良いと思います。世界的に見れば日本の飲食店の禁煙対策は遅れているということですが、国が飲食店に全面禁煙を強いて罪を与えるような事はおかしいですし、お客様も「ここでたばこを吸っても良いですか？」と聞かれる方がほとんどでむしろ禁煙を声高に言われる方よりマナーがあります。一番の喫煙対策は「たばこを売らない」事ですし、たばこを買ったり売ったりする事にペナルティーを与えるべきだと思います。</p>
		<p>そんなことを県が取り組むのはおかしいと思います。喫煙したい人は吸えばいいし、したくない人はそんな店へ行かなければいい。大人は判断できるはずです。ただし、吸う人はマナーを守るべきです。ちなみに私はたばこは嫌いではないが吸わない派です。情報発信は否定はしませんが、吸える店、吸えない店をちゃんと公平に発信すべきです。それができないなら「受動喫煙ゼロ」だけ発信するのはおかしいです。吸っている人は税金余分に払っているのに。</p>
		<p>当店は公共施設でもなければ独占企業でもありません。利用するしないはお客様の 100% 自由です。喫煙場所が減少傾向にある昨今、愛煙家にとって当店はありがたい存在になっております。むしろ街中からの分煙という意味において貢献していると考えます。</p>
		<p>役人が決めることではない。受動喫煙が気になるならそういう店に行かなければよいだけ。客が選択すればよいだけ。なんでもかんでも役人が決めることではない！公共施設（鉄道、飛行機など利用者が選択できない場所）はともかく自己資金で建てた物件までいわれる筋合いではない！</p>

IV. 参考資料

使用したアンケート票

飲食店のたばこ対策に関するアンケート

住所 _____

店名 _____

問1 貴店のたばこ対策についてお聞きします。(該当するもの1つに○)

- 1 店内を全面禁煙にしている
- 2 全席禁煙席とし、煙が流出しない喫煙室を設置している。
- 3 禁煙席と喫煙席を完全に分離して禁煙席に煙が流出しないようにしている
- 4 禁煙席と喫煙席に分けているが、しきり等はない
- 5 自由に喫煙できる

問2 問1で「3」～「5」と回答した方にお聞きします。

店内を全面禁煙・空間分煙にしていない理由を教えてください。(該当するもの全てに○)

- 1 来客数や売上げの減少が心配なため
- 2 利用客に喫煙者が多いため
- 3 構造上、分煙にできないため
- 4 改修に費用がかかるため
- 5 たばこ対策は考えていない
- 6 その他 (_____)

問3 問1で「2」～「5」と回答した方にお聞きします。

今後のたばこ対策についてお聞きします。(該当するもの1つに○)

- 1 店内を全面禁煙にする予定である
- 2 全席禁煙席とし、煙が流出しない喫煙室を設置する予定である。
- 3 禁煙席と喫煙席を完全に分離して禁煙席に煙が流出しないようにする予定である
- 4 禁煙席と喫煙席に分ける予定である
- 5 予定はない

問4 全員にお聞きします。

県では、受動喫煙ゼロのお店の登録を行っていますが、この制度を知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

● 「受動喫煙ゼロのお店」等の情報提供をご希望されますか。

- 1 希望する
- 2 希望しない

● 飲食店の喫煙対策について、何でも結構ですのでご意見がありましたらご記入ください。

[_____]

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

滋賀県健康医療福祉部健康医療課健康寿命対策室